

令和5年度 家庭教育支援プログラム指導者研修④ 実施報告

実施日：令和5年8月1日（火）

【午前の研修】

○ グループワーク

「家庭教育支援プログラムファシリテーター演習①」

総合教育センター職員

これまでの研修で学んだことを生かしながら、ねらいに迫るためにプログラムの展開の方法や内容、時間の配分、役割分担などについてグループで検討しました。効果的にファシリテートできるような言葉かけを考えたり、一つの活動で複数の効果が出るような導入部の自己紹介やアイスブレイクを工夫したりしていました。また、ワークシートや提示資料など必要な準備物についても検討し、よりよいプログラムとなるよう、熱心に協議を行いました。

受講者は、教育事務所の担当者からの助言も参考にしながら、プログラムの再構成について理解を深めました。



【午後の研修】

○ グループワーク

「家庭教育支援プログラムファシリテーター演習①」

総合教育センター職員

グループワークで作成したプログラム展開案をもとに、班のメンバーで役割分担をし、プログラムの演習を行いました。ファシリテーターとしての言葉かけ、プログラムの進め方、ワークでの参加者との距離感など、各班ともこれまでの学びを生かした演習となりました。

プログラム演習後は、参加者役となった班はよかった点等をファシリテーター班に伝え、ファシリテーター班は自分たちの進行についてふりかえりを行いました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ いろいろなアイデアを出し合い、よりよいプログラムになるよう構成を考えて実践していくことが大切だと思いました。
- ・ 実際にプログラムを進行、ファシリテートしてみないと分からない気付きがありました。
- ・ 今回の演習を通して、「問い方」1つで参加者の捉え方が変わること、そしてそれによって、ねらいに到達できない可能性もあることが分かりました。
- ・ 実際に人前でやってみると、頭の中でのイメージとのギャップを痛感し、反省しました。学びの多い研修となりました。
- ・ 笑顔が大切だと思いました。また、どのようなことでも称賛は心地よく、話しやすい雰囲気になることが分かりました。
- ・ 本日ファシリテートしたことで、「どうやるんだろう？」という不安から、実際にやってみたいという前向きな気持ちになれました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp